

総 社 市 教 育 委 員 会 会 議 録

- 1 開 会 令和5年8月23日 午前 10時00分
- 2 閉 会 令和5年8月23日 午前 11時45分
- 3 場 所 昭和中学校2階 ラーニングルーム
- 4 出席又は欠席した委員
出席委員
教育長 久 山 延 司
教育長職務代理者 三 宅 眞砂子
委 員 児 島 塊太郎
委 員 大 山 敬 子
委 員 剣 持 江利奈
- 5 会議に出席した者
教育部長 加治佐 一 晃
教育部参事兼教育総務課長
藤 原 直 樹
教育部参事兼部活動地域移行推進室長
平 田 壮太郎
学校教育課長 在 間 恭 子
こども夢づくり課長 浅 野 竜 治
教育総務課主幹 高 谷 直 樹
学校教育課指導主幹 時 光 皓 之
- 6 会議録署名委員
久 山 延 司 三 宅 眞砂子
- 7 付議事件
議案第19号 令和5年度一般会計補正予算（第4号）について 原案可決
- 8 議事の概要 別紙のとおり

【開会 午前10時00分】

◆久山教育長 ただいまから教育委員会を開会いたします。この教育委員会には、議案1件が付議されております。

では、まず、会議録の署名委員についてであります。会議録署名委員は、会議規則第16条の規定により、私のほか、出席委員中、三宅委員にお願いします。

では、議案第19号「令和5年度一般会計補正予算（第4号）について」事務局から説明願います。

◆在間学校教育課長 議案第19号についてご説明いたします。【歳出】についてです。義務教育学校準備経費の報償費として、169万3千円は、総社市立昭和五つ星学園義務教育学校開校に伴う記念品を購入するものでございます。需用費のうち、消耗品費6万6千円は、閉校式用の花代でございます。食糧費7千円は、閉校式における来賓用の茶菓子代でございます。印刷製本費3万1千円は、開校記念品用のシール作成に係る費用でございます。委託料のうち、看板等設置委託料の64万8千円は、現在の昭和小学校、昭和中学校に、義務教育学校名の看板を設置するものでございます。化粧箱製作委託料の47万6千円は、開校記念品用として化粧箱を製作するものでございます。説明は以上です。

◆久山教育長 ただいま説明がありました議案第19号について、ご質問はございませんか。

（質疑なし）

◆久山教育長 それでは、議案第19号については、可決してよろしいでしょうか。

（異議なし）

◆久山教育長 ご異議がないようですので、議案第19号については可決しました。

それでは、教育長報告を何点かご報告させていただきます。まず1件目ですが、オーストラリアにホームステイで行っておりました。12人の生徒と3名の引率者が8月14日に無事帰国しました。8月5日から10日間の令和元年以来4年ぶりのホームステイでした。26日（土）に報告会を行う予定にしております。それから、人口増に関係して、教育委員会関係で進めようとしていることとお話させていただきます。一つは放課後児童クラブの需要が高まり希望していても入れないお断りをした状況も起きており施設を増築して、支援単位を増やざるを得ない状況になってきています。常盤小学校の放課後児童クラブが希望者も多くて、お断りをする人数も多いということです。それから、中央小学校もかなり定員を超えて受け入れをして頂いている状態です。それから、東小学校です。この3校については、もう限界を超えている状況になってきましたので、増設をすることを考えています。予算の関係もありますので年次的になるかもわかりませんが、早急にこの3つについては増築を考えています。放課後児童クラブの施設を増やせば支援員も増やすということになります。大々的に支援員の募集をしないといけないと思っています。それから、この9月から来年の3月まで給食費の無償化を行います。これは、小・中学校については、そのまま給食費が無

償になるという状況ですが、幼稚園、保育園、未就学、どこへも行っていない子も含めて、給食費または給食費相当分を支援します。また、来年度は中学校に限って無償化をしていくことが出来ないだろうかと考えているところです。中学校に限定すると、小学校の保護者から不満が出るのではないかと心配があるのですが、いずれにしてもみんな中学校を通過していくので、一時的なものではなく継続して実施するよう検討に入っている状況にあります。それから、認可外保育施設への助成です。認可保育園は、今までもよく問題になっているように待機児童の問題があります。認可を希望しても入れないから認可外へ行っている。認可外保育施設については、公の助成というのはありません。認可外は市内に6つあります。それぞれが、かなり経営が苦しい状況であります。市として助成が出来ないか検討に入っています。

それでは、次の事項に入ります。報告事項「全国学力・学習状況調査の結果について」事務局から説明願います。

【事務局説明】

◆久山教育長 続きまして、「令和5年度 第1回総社市部活動地域移行推進協議会」について、事務局から説明願います。

◆平田部活動地域移行推進室長 一昨日「第1回総社市部活動地域移行推進協議会」を開催させて頂きました。これにつきましては昨年度、準備委員会ということで進めておりましたが、今年度から推進協議会として進めさせて頂いております。そのものの資料をつけております。まず、令和5年度の実績で、現在、総社中学校、昭和中学校の合同部活動を進めております。今日現在で、25回（25日）合同部活動を開催させて頂いております。昭和・総社中間をバスで移動して、お互いということしております。一番下の右ですが、美術部につきましては、オンラインなどで行き来せず出来る取り組みも行ってあります。続きまして、次の資料ですが、指導者育成ということで、「一般社団法人 アスリートキャリアセンター」というものがございます。こちらについては、青山学院大学の原監督が代表を務めているものでございます。「組織運営」と「理論に基づいた運動」の両面から、正しく安全に指導出来る指導者育成を目的に、9月9日（土）半日、10日（日）一日かけまして、総社小学校多目的室で開催いたします。25名から30名くらいの指導者の方、特に市で交付している外部指導者の方には必ず来て頂くようにしています。それから事前に行った部活動に関するアンケート結果について、簡単に説明させて頂きます。まず1ページ目、【合同での部活動にどう感じているか】73.5%ですが、肯定的な回答が多かったということになっております。抜粋させて頂きます。3ページ目、青の帯につきましては、こちらは、総社中、昭和中の教職員の方に対してですが、合同部活動をさせて頂いていますが、今までにない連絡調整に負担感がある。ICTは色々使わせて頂いているのですが、まだまだ改良の余地があるかと思っております。続きまして、4ページ目の上、【部活動の指導を行うことに

ついでに【お聞きしましたが、やりがいを感じているという42%の肯定的な意見もあるのですが、やはり、時間的、精神的に余裕がなくなり負担であるという回答も65%頂いております。それから、5ページ目の上、指導を希望するかどうか、出来れば指導をして頂きたいのですが、昨年度はやってもいいよと質問の内容が違うので、一概に比べることは出来ないのですが、希望する、どちらかと言えば希望するが、23.3%、約75%の人がどちらかと言えばやりたくないという回答でした。最後、7ページ目の下に、【地域クラブ、部活動に期待すること】ですが、種目の専門性の高い指導、【不安に感じること】としては、活動場所までの送迎であるとか、平日の活動との連携というようなご意見を頂いております。アンケートについては以上です。続きまして推進計画につきまして、ご説明いたします。このたび、「総社市部活動地域移行推進計画」を策定するという事で委員の皆さんにお諮りしております。こちらのほうでいこうと思っているのですが、まず1ページ目、目指す地域移行の姿「1. 仲間と励まし合い、高めあう子ども」、友情とかということですが、「2. 自ら考え、行動する子ども」、主体性、部活動を通して、「3. 諦めず、挑戦する子ども」、ということで、教育的要素を取り入れながら、こういう姿を目指していこうと考えております。2ページ目真ん中から下ですが、まず第1段階として少子化、継続が厳しいようなところについて、合同部活動を実施してやっていく、ということで、今現在取り組んでいるところです。第2段階として外部指導員の増員、さらには指導者の資質向上のための研修を9月9日、10日に実施するものでございます。様々な要件をクリアしたところから地域クラブ化、運営主体を学校ではなく部活動地域移行推進室へ担っていこうと思っております。実際に出来そうなところがありますので、まずは総社中学校、昭和中学校の男女のバスケットボール部から地域クラブ化をさせていただこうと思っております。こちらについては保護者にも説明して地域クラブの形で進めていこうと考えております。それから、推進協議会へ様々なご意見を頂きました。まずは人材確保をしっかりしていくこと。それから、委員のメンバーが最後になりますが、推進協議会で様々なこと、実務的なことを決めることは非常に難しいので、各々で部会を開き部会を持って研究したものをこの協議会にあげるようにということで、協議会の下に部会を設ける予定でございます。それからその部会の中に、文化系の部活については文化系の部会を設けて進めていくということで小原校長を中心にして頂けることになっております。最後に関連して、「総社市学校部活動、地域クラブ活動の在り方に関する方針」について、前回お示しして宿題を頂いていたのですが、児島委員からスポーツ系に偏っているのではないかとご指摘を受けたのですが、まず1ページ目の冒頭、生徒の成長に最適なスポーツ、文化芸術環境を実現するということで、まずは両方ですよと謳っております。後は共通事項として書いております。文化芸術活動につきましてもそれぞれ、お示しはしているので出来ればこのままの関係でやらせて頂ければと思います。文中の波線を引いているところにつきましては、スポーツ分野しか該当しない部分ですけど、後は共通事項ということでご理解頂ければと考えております。以上です。

◆久山教育長 何かご意見、ご質問はございませんか。

◆**児島委員** 僕が前回、スポーツがあまりにも、という話をしたと思うのですが、総社市には、高木聖鶴先生という文化勲章を頂いた方がいらっしゃるにもかかわらず、聖雨先生が後を受けて、書道の指導を中学生たちにされていますよね。そういうことは非常に重要だと思うのですが、オリンピック選手が出ることも大切だけど、そういう方々が総社市内から出られるにもかかわらず全く反映されていない。この中にそういう関係の人が誰も入っていないければ誰も発案しないということになるので、そこはもう少し考えたほうがいいんじゃないかと思います。

◆**久山教育長** 書道ということもですけど、文化系というと音楽に偏る傾向がどうしてもある。音楽は、吹奏楽にしても合唱にしても、ジャンルはスポーツとは違うんだけど、コンクールの試合的なものがあるから、どうしてもそっちが中心になる傾向がある。美術とか、先ほど児島先生が言われた書道とかもちろんコンクールがあるんだけど、そういうところの意味合いがちょっと違う。音楽のコンクールとは違うからこういうところで、表に出にくい傾向になっているのかと思います。内容的に、先ほどの平田室長の説明の中で、合同部活動で、美術などはオンラインを使って、移動しなくても頻繁に合同の部活動が出来るようになる。合同にしなくても活動の工夫、伸ばしていくということも併せて取り組んでいく必要があるのかと思います。

◆**児島委員** 岡山県でも、私立の高校が全国の書道大会で何度も優勝してますよね。中国まで学生が行って勉強して帰ってくるというか、そういう子どもたちを総社市で育てることも考えていくべきだろうと思います。

◆**三宅委員** 短歌とか何とか甲子園というのがいろんなところで、文化系でも出てきますので、そういう考えがあってもいいのかと思いました。

◆**大山委員** 今言われていることは、芸術とか文化のことを市でどのように盛り上げていくか、大事な部分ですけど、平田室長が説明してくださった、部活動の地域移行というのは、大きくは教員の働き方改革というところから端を発していて、結局コンクールにしのぎを削って疲弊していつている現場の教員をどうするかという問題、それを地域で受け取ろうということが根本になっていつているので、芸術文化をどのように発展させていくかというアプローチは、また別のところからも出来ると思います。ただ、児島委員が言われた視野として文言とか内容的に気を付けて頂けたらとは思っています。この推進の中に文化芸術の活動を必ず文言としても視野の中に入れて頂きたいと児島先生の思いだと思います。どうやって盛り立てていくかは、また、市の施策とか行事とかに関わってくるのかと思います。

◆**久山教育長** 文化的なものを、これからどのように広げていくかが中期的な課題だと思います。ありがとうございます。これもどんどん進化していつていますから、また、この教育委員会で度々話題にさせて頂きたいと思います。ほかに報告事項はありませんか。

◆**加治佐教育部長** それでは、昭和五つ星学園義務教育学校・幼稚園の関係についてご説明させて頂ければと思います。A3三つ折りのパンフレットに基づいて説明させて頂ければと思

います。このパンフレットですけれども、8月末から9月上旬にかけて、地域の方あるいは新しく生徒募集をするために、倉敷市、岡山市へ重点的に配布しようと考えているパンフレットの原案でございます。昭和五つ星学園が来年4月に開校するのに合わせまして、地域の方にお知らせするというのと、新入生を募集するという2つの役割を持たせて作成させて頂いております。中面をご覧頂ければと思います。学校の教育の特色というものをこの1ページでつかんで頂きたいと思って配置しているところでございます。まず、新しい五つ星学園のロゴマークが左上のほうにございまして、教育委員会でも議論頂きました、【学校教育目標】と【目指す子ども像】を掲げさせて頂いております。1点目が環境学校、2点目が英語教育、3点目が一貫教育という3点でございます。【自然あふれる環境学校】でございますけれども、今回この学園の目玉といたしまして、アルピニストの野口健さんに名誉校長という形で就任頂くことになりました。野口健さんの持っている特性を生かしたような自然体験活動を行うとか、環境学校という形で清掃活動、植樹といったことをさせて頂いておりますので、それが来年度で市内の学校を一巡することになりますので、これから昭和に注力して頂いて環境学校と一緒に作って頂くということを考えているところでございます。また2点目の英語教育でございます。昭和という地域は平成26年度から「英語特区」という形で、語に力を入れていたところがございますけれども、新しい義務教育学校・幼稚園になっても、この「英語特区」というものは継続していく、むしろもっと力を入れていくということになると考えております。その点を魅力に挙げさせて頂いております。引き続き英語特区スーパーバイザーの木村松雄教授も関わってくださることになっております。また、3点目の一貫教育でございますけれども、これは一つの学園という形にして、その中に義務教育学校9年と幼稚園3年というものがあるという形になります。12か年を一つの学園の中で過ごすということになりますので、今まで以上にピアサポート活動ですとか、交流ということをやっていききたいと考えているところがございます。また、交流活動を積極的に行っていくために新しい施設というものを整備させて頂く予定にしております。一つはプレゼンテーションルームで、ちょうどこの会場の上の階になるのですが、そこをプレゼンテーションルームとしまして、9年生の研究や授業の内容の発表というものを下級生や地域の人に対して行うといったところに使えるルームを整備したいと考えております。また1-5アクティブキャンパスの中に幼稚園ルームというものを作らせて頂きまして、そこで幼稚園児と義務教育学校の児童生徒が交流するような施設を作りたいと考えております。下段は義務教育学校の説明と合同部活動を総社中学校としているところがございますので、そういったところも学園の魅力としてアピールしていきたいと考えているところがございます。表面は地図ですとか学園歌ですとか、制服、アクセスということを記載させて頂いているところがございます。この資料については以上でございます。

◆**児島委員** この資料を全部見た中で、裏面の教育目標の斜めになった字体が非常に気になる。上もそうですけど何で斜めになる必要があるのかと思う。色を変えればいいですよ。「自然あふれる環境学校」は昭和のブルー、同じ文字の形で色を変えればいい。デザインの

に不自然に思える。

◆久山教育長 今のご意見，検討します。

◆久山教育長 よろしいですか。また完成したら。それでは，校門についてお願いします。

◆高谷教育総務課主幹 失礼します。小・中学校の校門の表札の件です。前回もお聞きさせて頂いたのですが，改めまして委員の皆様のお考えをお聞かせ頂ければと思います。そのお考えなどを踏まえ，昭和小学校，中学校などと協議しながら，決定していきたいと思いますので，よろしくお願いいたします。

◆久山教育長 すぐに決定しないといけないわけでもないから，それぞれ委員さんの好みを言っていただけますか。三宅委員さんどうですか。

◆三宅委員 私は一番上です。

◆剣持委員 私も一番上がいいと思います。

◆児島委員 僕も一番上がいいと思います。この間，テレビで，文字が遠くにあって見易い文字と，近くにあって見易い文字は同じだと。いくら遠くにあっても見える文字ってある。例えば，習字で書いたような文字は遠くでは文字として見えない。出来るだけ遠くにあっても見える字体，デザインのほうが僕はいいいのかなと思います。角がないのがいいじゃないですか。

◆大山委員 私も一番上がいいと思います。

◆久山教育長 私は一番下がいいと思うんだけど。ちょっと変わっているというか。意外と旧字体のようで斬新な，しゃれているかなというふうに思いました。

◆児島委員 字体の中に空間がないから，遠くにしたら，これは読めない。

◆三宅委員 子供たちにとっても，読みやすい字体がいいのかなと思います。

◆久山教育長 小学校の校舎と中学校の校舎と，変えてもいいですね。分かりました。次に校歌を大山先生お願いします。学園歌です。昭和中学校の校歌を使いながら，最後のところだけ変えるということなので，そこを大山先生にA案からD案まで4通り作曲して頂きました。

◆大山委員 A案。「昭和中学校」という元のままの歌と，「あゝ我等が」というところまではそれを尊重しています。それから，「昭和五つ星学園」というところが変わっています。

「昭和五つ星学園」がB案です。B案とC案はほぼ一緒ですけども，同じ音で「昭和」が始まるか，1音上げて昭和が始まるかの違いだけです。D案は，メロディーラインを全くそのままにして，「あゝ我等が 昭和中学校」を生かしたまま，「昭和五つ星」で終わって，「学園」がないです。その地域全体をさす五つ星だけでもいいかなと，「五つ星」で止めるとメロディーラインがそのままになるので岩崎先生の原曲が生かれます。私としてはA案がお勧めですけど，歌いやすさは，B案，C案が歌い易いと思います。

◆久山教育長 学校に渡して，音楽の授業で生徒に歌ってもらって決めますかね。

◆久山教育長 それでは，次に三宅委員さんお願いします。

◆三宅委員 7月31日から8月20日までの，お盆休みを挟んでの3週間分の報告です。

左下のコロナウイルス感染症のグラフは、吉備医師会の先生の報告を含みます。多くは成人例でおよそ報告数の半数です。当番医の先生の報告が多かったです。だいたい150例前後の報告が続いています。報道されることはなくなったのですが多いです。若い働き盛りの感染者が多く、高校などはクラスターが発生しました。5類になったということもあり、体調不良でも出勤・登校して、感染を拡大する例もありました。夏休みのため、小児の報告は少なかったですが、小児では一家全員感染した例が多かったです。小児は軽症だと言われていますが、痙攣を起こし脱水症状になる症例もあります。総社市では、高校生と異なり中学生のマスクの着用率は高く、クラスターの発生はほとんどありませんでした。インフルエンザAは夏休みに入って減少していましたが、介護施設での流行がありました。今シーズン、2回罹患された方もいます。南半球のオーストラリアでは、インフルエンザAの流行後にBの流行がありました。感染対策が緩和されるにつれて、通常の感染症流行のパターンに戻ってきているようです。10月からはインフルエンザワクチン接種が開始されます。高齢者、リスクの高い方、乳幼児の方は接種を検討してください。これからの季節は、喘息発作のきっかけとなる鼻かぜのウイルスが流行します。体調不良の場合は休み、手洗い・換気、周囲の感染状況によってはマスクの着用は引き続きお願いします。学校が始まって、これからたぶん増えてくると思います。以上です。

◆久山教育長 ありがとうございます。それでは、次回の教育委員会の日程についてですが、9月25日（月）午後2時から、維新小学校カゴノ木ホールで開催いたします。なお、会場の維新小学校まで、市役所から乗り合わせにより出発したいと思います。午後1時15分までに市役所西側の駐車場へ集合をお願いします。次に、10月の教育委員会の日程を調整したいと思いますので、事務局から提案願います。

*** 10月の教育委員会について日程調整***

◆久山教育長 それでは、10月の教育委員会は、10月30日（月）午後2時から総合福祉センター2階 教養研修室で開催いたします。

それでは、これで審議はすべて終了いたしました。それでは、教育委員会を閉会いたします。ありがとうございます。

【閉会 午前11時45分】